

戸田市および株式会社デベロップとの 災害時における移動宿泊施設等の提供に関する協定締結について ～安全・安心なまちづくりに向けたレスキューホテル活用～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2022年3月18日（金）、戸田市（市長 菅原 文仁）および株式会社デベロップ（本社：千葉県市川市、代表取締役 岡村 健史）と、3者による「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定書」を締結いたしましたので、お知らせします。

当行と戸田市は2016年4月の地方創生に係る連携と協働に関する包括協定の締結以来、産業振興や健康づくりの分野でのセミナー共催などに取組んでまいりました。

今般の協定締結はこうした取組みに連なるもので、地震や風水害といった災害時に、移動式コンテナ客室の「レスキューホテル」を仮設宿泊施設等に活用していくものです。

具体的には、戸田市からの要請に基づき、株式会社デベロップが平時はホテルとして
いるコンテナ客室を出動させ、市およびその周辺に設置していきます。あわせて、当行
では市民の皆さまへの積極的な情報発信に取組んでいくとともに、レスキューホテルの
設置候補地^注を、行内外のネットワークを通じ紹介してまいります。

本取組みを通じ、当行は戸田市が注力している安全・安心なまちづくりに寄与して
いきます。

当行では、今後も自治体や事業者の皆さまと連携し、持続可能な地域づくりに
貢献してまいります。

注 レスキューホテルは基本的には公有地に設置する予定ですが、公有地が使用不能の際などにおいて、
民間の設置候補地を紹介します。

《協定の概要》

名称	災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定書
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市から要請があった場合、株式会社デベロップは、優先的にレスキューホテルを提供する。 ・当行は、本協定に係る市民への周知および啓発について協力する。また、戸田市や株式会社デベロップからの要請により、レスキューホテルの設置候補地の紹介を行う。
締結日	2022年3月18日（金）

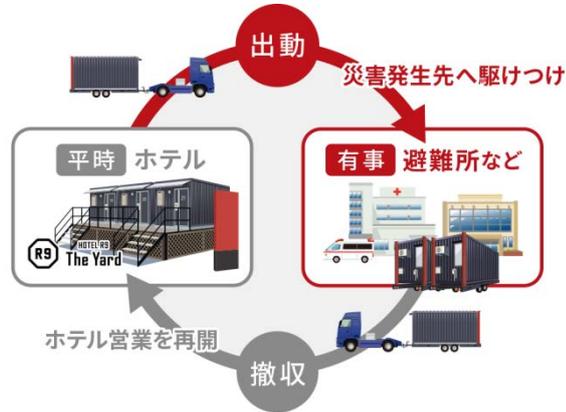
以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 郷 大助、佐野 和弘
TEL (048) 641 - 6111 (代)

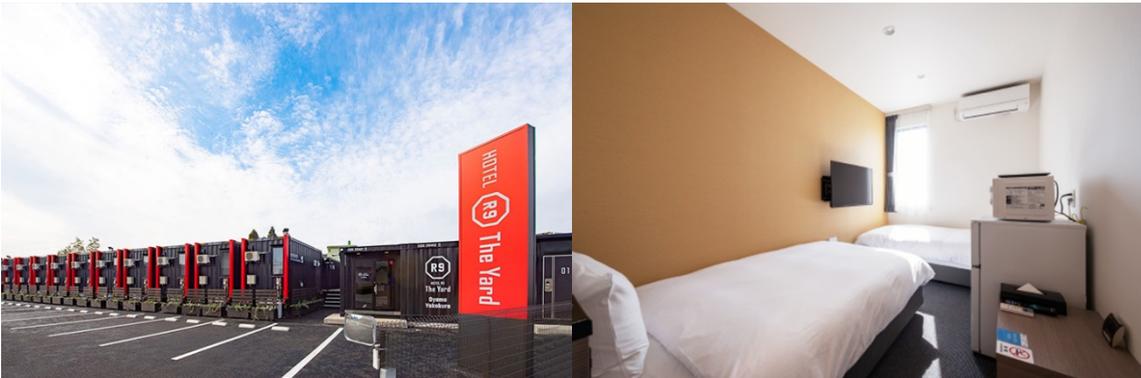
《別紙》 レスキューホテルの仕組み

レスキューホテルは、平時にはホテルとして運営するコンテナ客室を、災害など有事の際に被災地などに速やかに移設し、仮設宿泊所等として利用できる仕組みです。

レスキューホテルを運営している株式会社デベロップは、国内に多数の拠点を（49拠点、1,648室）を有しており、全国の85自治体と災害に関する協定を締結しており、自治体からの要請に応じて24時間以内に出動できる態勢構築を目指しています。



【平時】ホテルとして運営



【災害などの有事の際】仮設宿泊所等として利用



運 営：株式会社デベロップ
本 社：千葉県市川市市川1-4-10 市川ビル8F
代表者：代表取締役 岡村 健史
設 立：2007年2月
資本金：3,000万円
URL：<https://develop-group.jp/>